

山梨県 JAふえふき（台湾向けももの輸出拡大）



光センサー選果機

山梨県は日本一の生産量を誇るももの産地である。中でも中心的産地のひとつであるJAふえふきでは、更なる販路拡大を目指し、平成18年から台湾への輸出に向けた出荷体制を整備した。

光センサー選果により甘く高品質なももが出荷され、台湾では、贈答用等の高価格帯商品として引き合いが多く、輸出量は年々増加。

| | | |
|-----|-------|-------|
| 輸出量 | 平成19年 | 91 t |
| | 平成20年 | 137 t |
| | 平成21年 | 118 t |

【販売戦略、工夫した点等】

- ・ 輸出にあたり、病虫害のない確実な選果が絶対条件であり、従来の選果方法では限界がある。そこで、特に出荷ピーク時に専属の選果補助員を配置し、ハケ、エアーガンでの洗浄、検査作業を強化し、不合格品発生抑制を図った。
- ・ 出荷箱に独自の名称(ロゴ)を入れ、「JAふえふき」ブランドイメージの確立を目指した。

【輸出によるプラスの効果等】

- ・ 輸出量増加に伴い、産地登録共選所、生産者数が増加しており、その結果、高品質で安定的な生産量が確保され、国内向け販路拡大にも繋がった。



検査・選果作業